

ユリ(オリエンタル・ハイブリッド)
Lilium
 (ユリ科)

カサブランカに代表される豪華な大輪のユリ。カノコユリ、ヤマユリ、タモトユリなどの種間雑種で、オランダで育成された品種グループ。オリエンタルを親にした種間雑種に、イエローウインに代表されるOT(オリエンペット・ハイブリッド)もあるが、外観から区別することはむづかしい。いずれも蕾で採花され、乾式横箱で出荷されている。蕾数(輪数)は1輪から9輪程度まであり、規格として表示されている。下の蕾から順次開花する。開花した花では花粉が衣服を汚すので、花店では薬を取り除いている。輸送中にすれて、蕾や葉が黒変することがある。下葉は黄変しやすい。

日持ち終了の主な症状は、花弁の褐変、萎凋である。オリエンタルユリは高価であるので、健全花1輪以下で日持ち終了とする。

1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
小花花弁の褐変・萎凋	A:発生がない B:花弁が完全に展開し、開葯するとともに、外花弁がやや褐変 C:外花弁が褐変し、内花弁先端の褐変が始まる D:全花弁が褐変、花弁が落下することもある	ユリ科の特徴として、外花弁が3枚、内花弁が3枚ある。外花弁から褐変し始める。
開花程度	A, B: A, Bの小花が3輪以上ある C: A, Bの小花が2輪 D: A, Bの小花が1輪以下になる	もとの蕾数にかかわらず、健全な花が2輪以上で観賞価値有りとする。
葉の黄変	A:黄変・褐変がない(緑色) B:葉先が黄変 C:葉全体がやや黄変 D:葉が全体が黄変	下葉に発生が多く、中～上位葉には少ない
その他		

2) 留意点

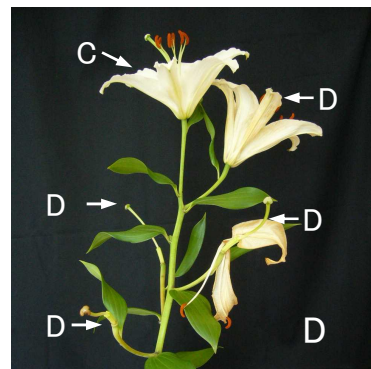
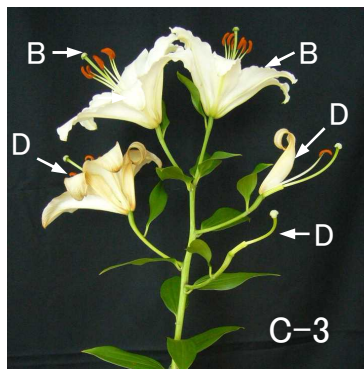
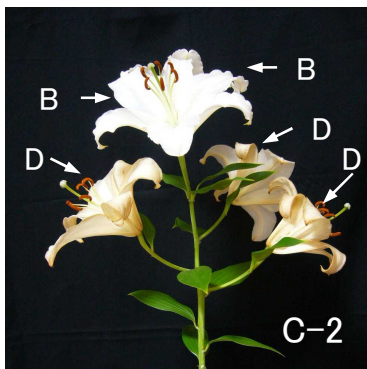
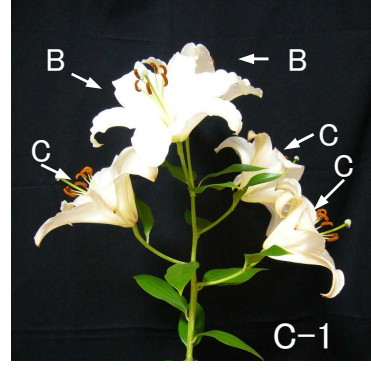
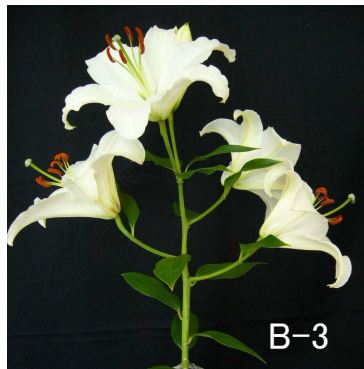
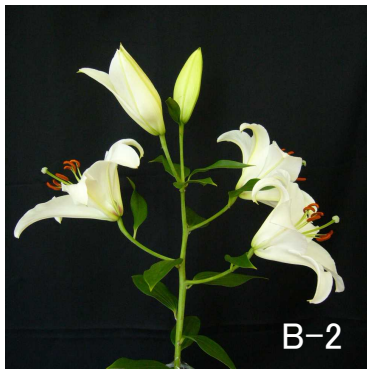
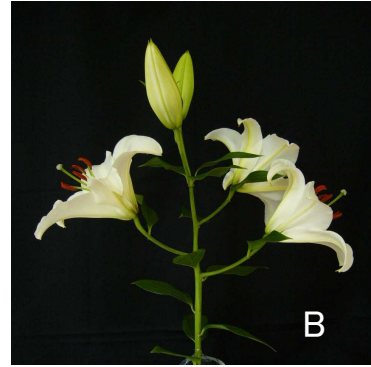
蕾が3輪以上の切り花を用いる。

オリエンタルユリはボリュームがあり、輪数が多く、健全輪数を調査するためには1花瓶に切り花1～3本とし、花瓶数で反復することがのぞましい。

下葉は黄変しやすいが、出荷時には切り口から20cm程度までは取り去られているのに加え、生け花するときにはさらに取り去るので、問題になることは少ない。

ホームユース用などで5輪未満の切り花を供試する場合でも、A, Bが1輪以下になったときをDとする。

3) 開花



C: A,Bの小花が2輪

D: A,Bの小花が1輪以下

4) チェック事項



外花弁がやや褐変・変色

